

年頭のごあいさつ



周防大島町長
権木 巧

「幸せに暮らせる町づくりに
向けて全力を傾注します。」

新年明けましておめでとうござ
います。

町民の皆様におかれましては、
輝かしい新春をお迎えのこととお
慶び申し上げます。

平素は、町政の推進につきまし
て、格別のご理解ご協力を賜り、
厚くお礼申し上げます。

さて、昨年十月には、周防大島
町が誕生して満五年を迎えました。

新町では、中本町長のもと、合
併直後の未曾有の財政危機を克服
し、旧町から引き継がれた事業に
加え、新町建設計画に掲げる主要
プロジェクトでありました大島斎
場、一般廃棄物処分場、リサイク
ルセンター、東和庁舎及び星野記
念館の建設、和田・沖浦・安下庄
の下水道事業、生活交通バス体系
の見直し、防災行政無線整備、中
学校の統合、東和中学校改築、大
島病院新築移転など、懸案の事業
を進めてまいりました。

一昨年の十一月、私は周防大島
町二代目の町長として就任し、主
要プロジェクト事業の完成あるい
は推進を引き継ぎましたが、百年
に一度と言われる経済危機の中、

厳しい経済状況のもとでの船出と
なりました。

危機的な世界経済、厳しい財政
状況の中で、平成二十一年度の予
算編成に当たり、財政の健全化を
第一に掲げた上で、行政コストの
削減により生み出された財源で、
生活関連施設の整備や子育て支援
の充実、滞在型・体験型観光に取
り組み、交流人口百万人を目指す
など、「合併してよかったと実感で
きる町づくり」を進めることを念
頭に、取り組んでまいりました。

その後も、景気の先行きが不透
明な中、政府では数次にわたる緊
急経済対策予算が組まれ、本町も
すでに子育て支援や観光振興、学
校耐震化等教育振興のほか道路維
持など生活関連の補正予算を追加
計上し、執行しているところであ
ります。

一方、九月には政権交代という、
大きな時代の転換点に直面し、地
方自治体においても従来にはない
対応や、政策の視点の転換が求め
られております。

政権交代により、「地域主権」の
確立、地方自主財源の大幅拡充、

国と地方の協議の場の法制化など、
地方の立場から大いに期待するも
のであります。他方、地方財政
への影響は不確実な状況でありま
す。当町の財政の健全化は緒につ
いたばかりであり、財政健全化の
大きな目的は「住民サービス水準
の安定的な確保」にあると思っ
ております。そのために、私の四十
数年にわたる行政経験を生かしな
がら、真面目に、誠実に、地道に、
謙虚にそして確実に「幸せに暮ら
せる町づくり」に向けて、全力を
傾注してまいり所存であります。

虎は『騎虎の勢い』『虎を野に放
つ』などのように強い、猛々しい
というイメージの一方、『虎は千里
往って千里還る』の諺のように、
家族愛の深い動物でもあります。
今年の干支にちなんだ、強い信念
と優しい心で、町政運営に尽くし
てまいりたいと存じます。

今年が、町民の皆様にとりまし
て、すばらしい年となりますよう、
心より祈念申し上げます。新年のごあ
いさつといたします。